

ICOLD 第 26 回大会論報文募集案内

国際大ダム会議 (ICOLD) 第 26 回大会は 2018 年 7 月 1 日～7 月 7 日にオーストリア・ウィーンで開催されます。

大会に提出できる論文の種類は、課題に対する論文 (Papers) とそれ以外の自由報文 (Communications) の 2 つです。(以下、合わせて「論報文」という)

日本から大会に提出できる課題論文数は 26 編であり、1 課題につき 9 編以内となっています。そのため、当会議では、論文査読 WG において、第 1 段階として提出論報文の概要を査読いたします。報文については提出数の制限はありませんが、内容の確認のため査読いたします。

論報文提出希望者は下記要領により、論報文の和文概要を事務局に送付してください。

なお、「論報文投稿費 (1 ページあたり 38 ユーロ)」および「ICOLD 事務局への送金関係手数料 (1 編につき 5,000 円)」は著者・投稿者の負担となります。大会開催後に当会議から請求いたしますのでご留意願います。

大会開催期日：2018 年 7 月 1 日～7 月 7 日
開催場所：オーストリア・ウィーン
ICOLD パリ本部提出締切： 論文 2017 年 11 月 8 日
報文 2018 年 1 月 8 日

和文概要の作成および提出要領

- (1) 添付の申込書に必要事項をご記入の上、(一社)日本大ダム会議 干場 宛 (secretariat@icold.or.jp) に、E メールにて提出してください。
- (2) 和文概要は 1,500 字以内で作成してください。
論文内容が大会課題に見合っているか、また論報文が大会提出に適切かつ価値あるものかを査読いたします。
- (3) JCOLD への提出期限 論文概要：2017 年 7 月 28 日 (金)
報文概要：2017 年 9 月 29 日 (金)

ICOLD への論報文提出に関する主要日程

- (1) 論文
 - ① 概要の JCOLD への提出期限 7 月 28 日 (金)
 - ② 概要確認結果の著者への通知 8 月 7 日 (月)
 - ③ 本論文の JCOLD への提出期限 9 月 19 日 (火)
 - ④ 査読・修正・確認期間 9 月 20 日 (水)～10 月 31 日 (火)
 - ⑤ JCOLD から ICOLD 本部へ提出 11 月 7 日 (火) までに

(2) 報文

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① 概要の JCOLD への提出期限 | 9月29日(金) |
| ② 概要確認結果の著者への通知 | 10月6日(金) |
| ③ 本報文の JCOLD への提出期限 | 11月20日(月) |
| ④ 査読・修正・確認期間 | 11月21日(火)～12月22日(金) |
| ⑤ JCOLD から ICOLD 本部へ提出 | 2018年1月8日(月・祝)までに |

論報文執筆要領

執筆要領は概要確認後に著者に E メールにて送付いたします。

以下はその要点です。

- (1) 論文1編につき1つの課題及び副題に投稿できる。
- (2) 報文は当該大会の課題には含まれないテーマで、広く関心のある問題を取り扱うものとする。
- (3) 論報文は執筆様式が規定されており、かつ次の制限が設けられている。
-ICOLD 論文集に印刷した仕上がり状態で、挿入する図面、写真を含み全てで20ページ以内かつ1頁掲載単語数は文字だけの場合で約450words。

論報文査読の参考資料として、和文の原稿または関連資料(形式不問)がある場合は、論報文提出時に併せて送付してください。

ICOLD 第26回大会課題

課題	原文	和訳
100	RESERVOIR SEDIMENTATION AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT	堆砂対策と持続可能な開発
	1. Best practice of storage design including sediment release structures, reservoir operation and sedimentation management techniques including dredging, sediment removal and debris removal.	堆砂を下流に流す設備、貯水池操作、及び、浚渫、堆砂並びに残滓除去を含む堆砂管理技術等最適な貯水池運用手法
	2. Sediment replenishment techniques downstream of dams for river regime and morphology restoration.	河川の流況及び生態系保全のためのダム下流への堆砂の補給技術
	3. Experiences with turbidity current discharge by bottom outlets and the performance of sediment bypass tunnels.	底部放流管からの濁水の放流経験と排砂バイパスの実績
	4. Effect of climate change on reservoir sedimentation and consequences on sustainable storage use.	気候変動が堆砂と持続可能な貯水池使用に与える影響

101	SAFETY AND RISK ANALYSIS	安全とリスク管理
	1. Seismic Risk. Lessons from past earthquakes. Cost efficiency of relevant design improvements for dams.	地震災害。過去の地震からの教訓。ダムの補強の費用効率。
	2. Risk from floods on embankment dams, including climate change Data of accidents. Risk analysis. Efficiency and cost of solutions.	気候変動に伴うフィルダムの洪水リスク。リスク分析、効率と費用の最適化。
	3. Various risks for concrete and masonry dams including climate change. Data on accidents. Risk analysis. Specific remedies.	コンクリートと粗石コンクリートダムの気候変動を含む種々のリスク。事故のデータ。リスク分析、補強事例。
	4. Non-structural drivers that increase or reduce risk Management. Alert Systems. Public Safety. Data on Accidents.	リスクを増加あるいは減少させる非構造的要因。警報装置。公衆の安全。事故のデータ。
102	GEOLOGY AND DAMS	地質とダム
	1. Geology of foundation (investigation, interpretation and characterization) in relation to dam type selection and dam design.	ダム形式の選定と設計に関する地質と基礎（調査、解釈、分類）
	2. Foundation treatment: - Sealing the foundation (e.g. grouting, jet-grouting, cutoff walls, deep cut-off, etc.). - Strengthening the foundation (e.g. consolidation grouting, anchoring, concreted galleries, etc.).	基礎処理： ・遮水（グラウチング、ジェットグラウト、止水壁など） ・基礎の補強（コンソリダングラウチング、アンカー、コンクリート通廊）
	3. Instrumentation and monitoring, behavior of foundations including long term performance.	長期観測を含む基礎の挙動の計測
	4. Problems and solutions related to soft rocks foundation and foundation on deep overburden.	軟岩基礎および深い堆積層の課題と解決策
5. Reservoirs and landslides.	貯水池と地すべり	
103	SMALL DAMS AND LEVEES	小規模ダムと堤防
	1. Failure modes of levees: lessons learned, risk analysis, safety levels.	堤防の破壊様式、教訓、リスク分析、安全性の水準
	2. Design, construction and reinforcement of levees, problems with the original design.	堤防の設計、施工、補強、当初の設計上の課題
	4. Specific problems experienced and solutions for operating maintaining and rehabilitation of thousands of “Large Dams” lower than 15m.	堤高 15m 未満ではあるが貯水量 1 百万 m ³ 以上の数千の「大ダム」の特有の課題と維持管理および補修の解決策
	5. Specific problems experienced and solutions for operating, maintaining and rehabilitation of millions of Small Dams lower than 15m and storing less than 1 million m ³ .	堤高 15m 未満、貯水量 1 百万 m ³ 未満の小規模ダム特有の課題と維持管理および補修の解決策